

## 目標達成計画

作成日: 平成 30年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |            |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 35   | ここ最近経験した、地震、台風の脅威を考える時、これまでの災害対策で充分であったか感じさせられた。これまでの念頭になかった点として、停電、鉄道の運休等、が問題として提起された。             | 台風のように予測できる物には万全の対策で臨める体制づくりを、地震のように予測できない物に対しては何が出来るかのシュミレーションをして、その場の誰でもが対応できるように手順書を整備する。 | 非常食の備蓄、情報収集の手段、照明等電気器具の代替品の用意、交通手段の影響による人員対策、連絡網の整備、避難方法等に対して、具体的な対策を検討しマニュアル化する。 | 6ヶ月        |
| 2        | 13   | 認知症の理解の深浅により、我々の介護に対する取り組み、受け止め方などが影響されると考えられる。職場のスタッフ間に介護に対する共通意識が徹底されない事による均一なサービス提供が出来ない点、反省される。 | グループホームでの介護方法を個人的な感覚でなく、スタッフ間での共通意識を構築していく観点から考えていく。   | スタッフに適切な外部研修を受講してもらい、勉強会等で情報、知識の共有を図り、マニュアル化も検討する。                                | 12ヶ月       |
| 3        |      |   |  |   | ヶ月         |
| 4        |      |   |  |   | ヶ月         |
| 5        |      |   |  |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。